

平和人権教育ビデオ&DVD

いわたくんちの おばあちゃん

～ぼく、戦争せんけえね～

原作「いわたくんちのおばあちゃん」(主婦の友社刊)
作：天野夏美 絵：はまのゆか

上映時間 20分

ビデオ 69,300円(本体66,000円) [C#0113]

DVD 69,300円(本体66,000円) [C#0114]



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17
<http://www.toei.co.jp/edu/>

いわたくんちのおばあちゃん

～ぼく、戦争せんけえね～

企画意図

このアニメの主人公、寛太は現代の小学生です。寛太は、友達のおばあちゃん（ちづこさん）の話を聞くうちに、原爆のことや戦争のことを自分の問題としてとらえ、平和への決意をしていきます。

この作品は、昭和20年8月の広島で起こった実際のお話がもとになっています。

戦争は、人の命を奪う最悪の人権侵害ともいえます。

この作品を視聴したあとは、平和や命の大切さを、学校で、地域で、家庭で話し合っていたいただきたいと思います。

あらすじ

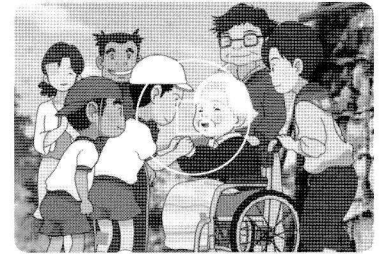
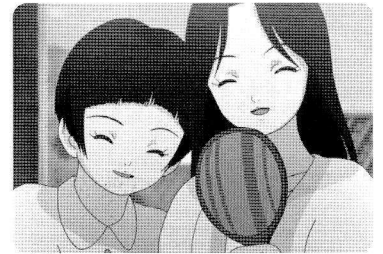
今日は運動会。友達のいわたくんと競走して負けた寛太は、少しふくれ気味だ。みんなで記念写真を撮ろうということになり、お母さんがシャッターを押そうとすると、いわたくんちのおばあちゃんは「いやーよ」と手を振って断った。なぜ？

昭和二十年。そのころ日本は戦争をしていた。おばあちゃん（ちづこさん）はまだ女学生だった。ある日、疎開する前の記念に、写真屋を呼んで家族六人で写真を撮影する。その数日後、広島町の町に原爆が落とされた。

町中が火の海になり、ちづこさんは家族と二度と会えなくなった。しばらくして写真屋と再会したちづこさんは、家族と最後に撮った写真を受けとる。それ以来、ちづこさんは家族とは写真を撮らなくなったのだ。

寛太はその写真をみせてもらった。お父さんとお母さんと仲の良い四人の姉妹が写っている。ちづこさんだけが生き残り、家族の幸せな時間は永久に失われてしまった。

寛太は誓う。「おとなになっても戦争せんよ。ほんとよ」



推薦のことは

この映画を、日本中の子供たちに見せたい。

いわたくんちのおばあちゃんの悲しみも、みんなに知ってほしいと思えます。

私は21歳のとき、広島で『愛と死の記録』という映画を撮影し、

原爆で犠牲になった何十万という人達のことを知りました。

今、『いわたくんちのおばあちゃん』を見て、大人も子供も一緒に読んで考え、

平和な世界を、戦争のない地球を作っていくために願っています。

吉永小百合



プロデューサー：中鉢裕幸／桜井宏

アニメーション制作協力：グループ・タック

監督：江口摩吏介

企画・制作：東映株式会社 教育映像部

演出：高木由絵

脚本：山上梨香

2009年作品

関東営業推進室 東京都中央区銀座3-2-17 〒104-8108 ☎03-3535-3631

関西営業推進室 大阪市北区梅田1-12-6 〒530-0001 ☎06-6345-9026

広島出張所 広島市中区八丁堀16-10 〒730-0013 ☎082-511-2066

福岡出張所 福岡市博多区中洲4-3-18 〒810-0801 ☎092-262-3101

●お買い上げは……

北辰映像株式会社

埼玉県さいたま市緑区三室2190-2
〒336-0911 電話048-810-5277